

【大口町の教育を考える会とは】

大口町教育委員会では、平成20年度の大口中学校の統合を皮切りに、耐震化を含めた施設整備事業を進め、平成24年度の大口南小学校の整備をもって一連のハード整備が完了しました。そうした中、次代を担う子どもを育成するにあたり、ソフト面も充実させる必要があると考え、「大口町の教育を考える会」を立ち上げました。

この会は、各学校のPTA会長、保護者代表、学校評議員の他、民生・児童委員、幼稚園・保育園関係者、教育委員会外部評価委員、小・中学校長、教育委員で構成されています。

【家庭での子育て10か条について】

近年モラルが低下しているということをよく聞きます。学校現場では学習だけでなく、生活面においても日々指導していただいておりますが、やはり、家庭教育は、全ての教育の出発点となります。子どもの発達の原点であり、常に子どもに影響を与え続けます。

そこで、大口町の教育を考える会を2回開催し、家庭での教育の役割や、あり方について話し合う場を設け、このリーフレットを作成しました。

リーフレットの内容については、家庭での子育て10か条という見出しで、表面に9つの条文でまとめました。これらの条文をもとに、子をもつ親が共通な思いをもって、子どもを育てていく環境を整えればと思います。

10番目については、皆様のご家庭で相談して決めていただき、各家庭、オリジナルの10か条を完成させていただきたいと思っております。

また、裏面にはこの9つの条文を実践するために、こういうことに気を付けたらいいのではないかと、方法やアドバイスのようなものを実践編として載せさせていただきました。

○よい生活習慣をつけさせましょう。

よい生活習慣を身につけさせることは、子どもの健やかな成長にあらゆる面で良い影響を与えます。また、生活習慣の乱れは、さまざまな問題を引き起こす

原因にもなりますので、まずは、基本的な生活習慣を身につけさせることが、大事ではないかと思います。実践編には、早寝、早起き朝ごはんの習慣をつけましょうと載せています。早起きと、朝ごはんは、太陽の光を浴びて、朝食をしっかりとりとすることで、体や脳を目覚めさせ活発化させます。また、早起きをするためには早寝をする必要がありますし、睡眠をしっかりとりとすることで、疲労回復や、体の成長を良くする働きがありますので、是非取り組まれてはと思います。

○家族みんなで元気なあいさつをしましょう。

あいさつは、社会性を育むのにとっても大切なことです。子どもにあいさつをさせるには、まず親が率先して、大きな声で、目を見て、示す必要があるのではないのでしょうか。また、あいさつをすることで、子どもの心の状態や、健康状態が、バロメーターという形で確認することができます。

○感謝の気持ちで、家族仲よく暮らしましょう。

家族皆の仲が良いことは、子どもにいい影響をあたえます。これを実践する方法としては、感謝の気持ちを「ありがとう。」と声に出して伝えること。そして、おしゃべりをして、コミュニケーションをとることが、大切なことであると思います。また、他の子とは比べず、子どもの存在を認め、存在がうれしいことを伝えましょう。

○家族の絆を深めましょう。

意見交換会の中で、家族皆が忙しい中、一緒に夕食を食べる時間を設けるなど、一緒の時間を作るよう努めているというお話を、たくさんいただきました。絆を深めるための方法については、いろいろあると思いますが、誕生会や大掃除などのイベントを作って、家族みんなで共有できる時間を作る。また、家族同士が、自発的に、思いやりをもてる気持ちをもてるように、家族のために、ちょっとした心配りをする姿を示しましょう。

○子どもの目を見て、聞き、話し、認めましょう。

今の子は自己肯定感が少ないのではないか。また、よくある親子の会話で、お母さんが台所でご飯を作っています。後ろから子どもが話しかけてきて、その子どもの話を後ろ向いたまま「うん。うん。」「すごいね。」って返事をします。親

は褒めたつもりでも、子どもは全然褒めてくれたとは感じていません。そんな話がありました。ただし、何でもかんでも褒めるのはよくありません。良いところは褒めて、悪いことはしっかり叱ることが最も大切であると思われま

○子どもの役割をつくりましょう。

学校でもキャリア教育ということで、勤労意識を高めることや、中学校では職場体験を行っています。家庭内でもお手伝いをする、役割があるということが、大事であると思います。これを実践するためには、家族で話し合っ

○子どもと夢を語りましょう。

平成25年度学習状況調査の中で、「将来の夢や希望は持っていますか。」「将来の夢や希望を実現するために努力していますか。」という質問に対し、大口町の小学校は全国平均より高かったのですが、中学校になると低くなるというデータが、教育委員会より示されました。このため、夢や目標を持たせるために、子どものやることに難しいと決めつけず、さまざまな経験をさせる。または、仕事のことや、スポーツのことなど、いろいろな話を言って聞かせれば、いいのではないかと思

○携帯、パソコン、ゲームの使用は、家庭でルールをつくりましょう。

年々ネットによるいじめや犯罪、事件などが増加傾向にあると聞きます。皆さんの中にも、防犯用のためとか、新しい機器に慣れさせるためという理由で、子どもに携帯を持たせているご家庭もあるかと思

○子どもと読書に親しみ、本を読む習慣をつけさせましょう。

平成25年度学習状況調査の結果で、大口町の子は本を読む時間が、小学校の

時は全国平均より高いが、中学校になると大きく下回るというデータが、示されました。方法としては、意見交換の中で本を読む時間をつくるため、ノーテレビ、ノーゲームデーを設定する、親が本を読む姿を示す、親子で本を読む、興味をさそって本を読む楽しさを教えるということをすれば、いいのではないかという提案をいただきました。

このリーフレットの条文については、専門家からこうあるべきだ、というような押し付けるものではありません。保護者や地域の立場から、経験などから出てくる生の声をまとめたものになります。また、ここに書かれているものが、全てではありません。このリーフレットをきっかけに、各家庭で子育てについて、少しでも考えるきっかけにしていいただければと思います。

最後になりますが、ここに書かれていること全てを実践しようとする、かなり大変なことと思います。まずはできることから、1つずつ始めましょう。